

現況業務と今後について

今成 信司 議員

質問 職員同士の連携と市民に対しての行政としての工夫は。

総務部長 職員同士の連携は、市役所が組織として機能するための基本です。

市民に対する行政の工夫としては、情報の共有化の徹底、本庁・総合支所間の連携、職員の意識改革、適切

な人事異動等により、職員間の連携強化を図ります。

質問 地域地場産エネルギー開発の今後の市の考えは。

市民部長 渋川市地域新エネルギービジョンによればエネルギー賦存量は太陽光が最も多いため、太陽光発電設備の設置者への補助や公共施設への設置を推進し

たい。他の新エネルギーには風力、小水力、バイオマスなどがありますが、課題が多く研究を続けたい。

質問 年度内着工予定の新最終処分場建設住民説明会について。

市民部長 処分場は渋川地区広域市町村圏振興整備組合が建設する施設です。地元には、小野上処分場連絡協議会に説明会、視察等を計6回、自治会関係には2回、広域議会及び市議会には計8回の説明を行ってき

質問 DCと花と緑のぐんまづくり2011inしづかわイベント終了後の対処方は。

建設部長 市独自で製作した花壇材料は今後各地区の飾花に活用します。花を活かしたまちづくりは次年度以降も取り組んでいきます。

商工観光部長 魅力あるイベントの開催など、元気な渋川が発信できる取り組みをいろいろな分野から検討し、観光客誘致に努めます。



小野池の小水力発電

一般質問

臨時会のあらまし

7月29日に平成23年第1回臨時議会が開かれました。市長専決処分報告と承認について2件（渋川市税条例の一部を改正する条例、渋川市都市計画税条例の一部を改正する条例）と渋川市立渋川幼稚園建設工事（建築主体工事）請負契約の締結について審議されました。

渋川市立渋川幼稚園建設

工事請負契約の締結についての議案は、5月31日に入札が行われ、落札者がなく不調に終わり、7月16日に2回目の入札を行い、株津久井工務店が落札しました。

質疑 図面変更はあったか。

答弁 建築確認を取っているので図面の変更はありません。

質疑 鉄骨の数量が当初113トンだったものが91・7トンに減ったと聞くが何ら説明がない。事実はどうなのか。

答弁 鉄骨の数量が減れば全体の単価も下がると思うが、予定価格はどうか。

質疑 鉄骨の数量が3分の1も減って園舎は大丈夫か。

答弁 設計は変わっていないので心配ありません。

臨時会に関わる

教育福祉常任委員会の審査

7月29日に臨時議会で付託された渋川幼稚園の建設工事請負契約の締結について審議し、全会一致で否決となりました。

変更できないと思うが。

質疑 鉄骨の数量が減ったのに予定価格が変わらないのはなぜか。

答弁 3月11日以降鉄の価格が上昇したため見直ししました。

質疑 鉄骨の単価を変えたことによるものです。

質疑 入札途中での単価は